こんな活動です

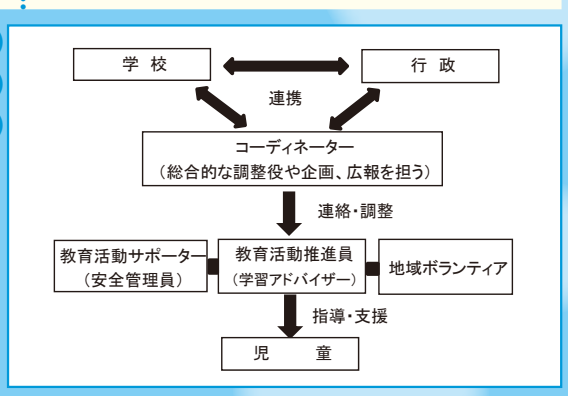
地域の子供たちを、地域で育てていく活動

宮城県石巻市	活動名	関係する学校名
	和小っ子クラブ	和渕小学校

基本データ

学校支援活動		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT 活用	企業・NPO との連携
地域未来塾		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT 活用	企業・NPO との連携
放課後子供教室	●	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT 活用	企業・NPO との連携
		0 人	3 人	27 人	34 日	25 年度	有	有	有
		実施場所			学習支援	放課後児童クラブとの連携			
		和渕老人憩いの家　和渕小学校校庭、体育館など			有	一体型			
土曜日の教育活動		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT 活用	企業・NPO との連携
コミュニティ・スクール		指定日					委員数	児童生徒数	学級数

体制図



活動の概要・経緯

石巻市における「放課後子ども教室推進事業」は、平成２５年度より和渕小学校区をモデル地区とし、県の「放課後子ども教室推進事業」を活用しながら取り組んできた。本事業では、放課後等に子供たちの安全･安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施することにより、子供たちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに「生きる力」の育成に取り組んでいる。運営スタッフやボランティアは、河南地域まちづくり懇談会和渕部会を母体とした地域住民である。地域住民は教育への関心が高く、総合的な学習の時間でのゲストティーチャーなど、学校への協力が積極的である。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「和小っ子クラブ」は、毎週木曜日の放課後、学校に隣接する老人憩いの家を活動拠点として、主に以下の４つの活動を行っている。

（１）遊び（こま回し、お手玉、けん玉、竹馬、凧あげなど）
（２）学び（宿題や自主学習、紙芝居、民話、合唱など）
（３）体験活動（農業体験、神楽体験、しめなわ作り、灯篭作りなど）
（４）交流活動（お菓子作り、手芸、陶芸、ゲートボールなど）

そのほか、全員が集合するまでの間は宿題や自主学習などの学習活動も行っている。

地域の特色を生かした活動や、ボランティアの方々の特技を生かした活動など、普段の学校の授業ではなかなか味わえない体験活動を展開している。

【実施に当たっての工夫】

様々な発達段階の子供たちを、ボランティアだけで活動の支援をしたり、指導にあたったりするのは容易ではない。そこで、縦割り班を編成し、異年齢交流を図ることで上級生が下級生の面倒を見るようにしている。また、各班にボランティアを配置することにより、担当する班の児童掌握や健康観察など、活動における役割を明確にしている。

児童とともに活動することによって、班の子供たちの性格や行動が把握でき、子供たちとの関係を深められるようにしている。子供たちも、班の担当ボランティアが固定することで、顔と名前を覚え、安心して活動に取り組んだり、気軽に相談をしたりすることができるよう配慮している。

【農業体験】　脱穀の様子

● 事業を実施しての効果・成果

毎週木曜日の放課後、多くのボランティアに見守られながら子供たちは安心して活動に取り組んでいる。縦割り班でグループを編成しているので、自然と上級生が下級生の子供の面倒を見るようになり、思いやりの心が育ってきている。地域ボランティアの方々との触れ合いからも挨拶や言葉遣いに気を配る子供たちが増えてきた。また、なかなか学校ではできない直接体験や本物に触れる経験を通して、学習意欲が高まっている。

「和小っ子クラブ」が子供たちとボランティア、ボランティア同士、保護者とボランティア、それぞれをつなぐ場として機能している。子供たちとの触れ合いに喜びややりがいを感じて参加しているボランティアの方々が多い。

● その他

・企業との連携・・地域の自動車整備工場や木材店を見学し、地域にある産業について学んだりしている。
・学習支援・・・・ボランティアは 14 時 30 分に集合し、放課後子供教室が始まる 15 時までの間を学習の時間とし、宿題を見てあげるなどの学習支援を行っている。
・ICT 活用・・・・ビデオ放映をする際にプロジェクターなどを活用し、児童に分かりやすく伝えるよう工夫をしている。

【水辺の生物調査】
用水路での釣りの様子